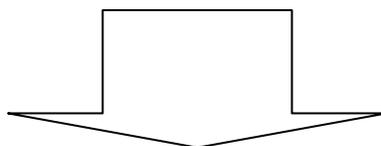


## 学校選択制に関する主な意見等の整理(ポイント)

児童生徒の教育的な観点から、学校選択制に関して、現段階における成果、課題及び基本的考え方等は、以下のように整理される。

<b>これまでの成果</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保護者の学校教育への関心が向上したこと</li> <li>・ 個性に合った学校を選べるようになったこと</li> <li>・ 特色ある教育活動が推進できたこと</li> <li>・ 学校の方針が発信できたこと</li> </ul> <p style="text-align: right;">等</p>
<b>これまでの課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 通学距離が長くなることに伴う安全確保が問題であること</li> <li>・ 学校と地域との関係が希薄化したこと</li> <li>・ 適正な規模が維持できなくなったこと</li> <li>・ 友人関係・立地条件等で選択されがちであること</li> <li>・ 授業で生活に密着した地域の題材を扱いにくいこと</li> </ul> <p style="text-align: right;">等</p>



### 【基本的考え方】

- 全国一律に導入を促進すべきというものではない。

メリットとデメリットを十分考慮した上で、学校設置者である各市町村教委が、導入するか否かを判断

### 【留意点】

- 選択されなかった学校(児童生徒数が減った学校)の課題解決に向けた支援が重要。

### 【国としての取組】

- 学校選択制の事例集を作成、配布 (H21年度～)

→ 先進的取組や課題を克服している自治体の事例を普及